

# 第6次江南市総合計画市民会議 議事要旨 (第7回 第3分科会 (行政分野))

日 時 平成29年2月6日(月) 13:30~15:00  
会 場 江南市役所 第3委員会室  
出席者 出席委員7名(1名欠席)

## ■委員

〈会長〉(欠席)	柴田 広美	ほていコミュニティ協議会副会長
〈副会長〉	早瀬 裕子	公募市民
	大脇 勇	公募市民
	豊島 正治	公募市民
	土肥 浩子	有限会社尾北ホームニュース編集
	福岡 恩	江南市まち・ひと・しごと創生総合戦略懇談会副会長
	坪内 俊宣	江南市総合計画策定部会(行政分野) 部会長
	村瀬 正臣	江南市総合計画策定部会(行政分野) 副部会長

## ■傍聴者

1名

## ◆議題

### 議題

(1) 基本計画(分野別計画)について

〈配付資料〉

資料1 江南市総合計画市民会議(第5回第3分科会) 議事要旨

## ◆会議結果

### 1 開会

事務局より挨拶。

### 2 市民会議

#### 2.1 報告

(1) 第5回議事要旨の確認について

(副会長) 報告(1)の「第5回議事要旨の確認について」、事務局より説明をお願いします。

(事務局) ~ 資料1について事務局より説明 ~

(副会長) ただ今の説明について、ご意見等ありますか。

(委員) 6ページの下から8個目の発言に「課題訂正力」とあるが、「課題形成力」と発言したので、修正をお願いします。

(事務局) 修正します。

(委員) その発言の下に、秘書政策課の“チェックの部分が非常に重要だと考えていて、”という発言があるが、ここで、申し上げたかったことは、チェックからアクションの間にどれだけ深

い議論がされているかということで、悪い結果であれば、それを改善し、逆に良い結果であれば、それを横展開して共有するということが重要だということである。

(副会長) 他にご意見がないようですので、次に移ります。

## 2. 2 議題

### (1) 基本計画(分野別計画)について

#### (1. 1) 検討した柱の修正確認について

##### ①分野Ⅴ－柱1 市民生活について

(副会長) ご意見等ありますか。

(委員) 行政の使命の記載内容の修正について、「男女共同参画社会の実現に向けた」という表現があるが、既に一部実現されている部分もあると思う。今後は、「男女共同参画社会の形成の促進」などの少し前向きな表現がよいのではないかと。「機運の醸成」という言葉では少し後退したイメージを感じる。

(委員) 確かに少し控えめな表現かもしれない。

(生涯学習課) 表現については、一度検討します。

(委員) 個別目標③の指標に「女性委員の登用率」を新たに設定してあるが、この目標値は他の市町に比べて、高いのか低いのか。どういった考えに基づくものか。

(生涯学習課) 国は平成27年度に第4次男女共同参画基本計画を策定し、平成32年度までに40%から60%の達成を目指しています。また、この計画では地方公共団体の市町村には平成32年度には30%以上の達成を目指すよう定められています。県におきましても平成32年度に40%の達成を目標にしています。これらの指標を参考に目標値を設定しています。

(委員) 江南市は男女共同参画都市宣言をしていることを踏まえると、随分控えめな目標だと感じる。実現不可能な目標値はいけないが、何か市民が納得できるような目標値だと良いと感じる。

(生涯学習課) 過去の指標の経緯は、平成22年度が23.4%、平成23年度が24.2%、平成24年度が27.5%、平成25年度が27.1%、平成26年度が26.1%、平成27年度が26.2%です。これらの経緯を踏まえて目標設定を行っております。

(委員) 男性職員の育児休暇取得率なども指標になり得るのではないかと。

(市民サービス課) 個別の指標として、お見せしなければならない機会もあるかとは思いますが、総合計画においては、男女共同参画社会の実現という成果目標を掲げていますので、現在の成果指標の方が適しているものと考えています。

##### ②分野Ⅴ－柱2 市民協働について

(副会長) ご意見等ありますか。

(委員) アダプト制度の表記について、しっかり受け止めてもらい、折衷案となっている。私の発言の本意は、計画を読む方が理解しやすいよう、また、理解をするのに時間を費やさないう、余計な注釈は控えた方がよいというもので、他人の時間を使うということや、計画書を作る費用も含め、コスト意識を持っていただきたいというものである。また、用いる表現によって制度活用を断念するケースもあつたりする。実際、自分自身、地元の美化活動に携わっていて、市のアダプト制度を知った際に、里親制度という表現を見て、この先、後の人達にも影響が及ぶと思い断念した。里親制度という表現が馴染んでいないがために、制度が浸透していかない部分もあると思う。総合計画の見直しは、こういった制度名称を変えるタイミングでもあると思うので発言した。

### ③分野Ⅴ－柱3 政策・人事について

(副会長) ご意見等ありますか。

(委員) 個別目標②の指標について、前回の意見に対して正面から受け止めていただいたと感じている。研修の事後評価は大変だと思うが是非実施していただきたい。

### ④分野Ⅴ－柱4 行政経営について

(副会長) ご意見等ありますか。

(委員) グラフの順序の修正はされているが、中身の江南市の位置などは、今後、統一的に修正するというのでよろしいか。

(事務局) はい。他の分科会の分もまとめて、字句やグラフの表現は統一します。

### ⑤分野Ⅴ－柱5 課税・収納について

(副会長) ご意見等ありますか。

(委員) 前回の意見により、「滞納処分」という表現を変更していただいているが、この変更に伴い、業務上、支障が起きたりしないか。心配するのは、「滞納処分」という用語が普段からよく使われているのに、表現を変更した関係で、新しい言葉が生まれて、余計に業務が煩雑になったりしないかということである。

(収納課) 業務に支障はありません。

### ⑥分野Ⅴ－柱6 行政事務管理について

(副会長) ご意見等ありますか。

(委員) 個別目標①の修正分の中に、「市政」という言葉があるが、以前、「市役所」を「行政」に統一するというような説明があったと思うが、これも統一されるのか。

(事務局) 以前、総合計画審議会でご指摘をいただき、「市役所」は「行政」に統一することになりました。「市政」についても、「行政」と同じような意味合いで使われている部分に関しては、今後、統一を図っていきます。

(委員) 現状と課題の文章についても、だいたいの構成は揃っているが、「江南市においては～」という柱と「江南市においても～」という柱とある。こういったところも統一を図ってはどうか。

(事務局) 社会潮流と同様の状況であったり、また、社会潮流と異なる状況があったりするので、一律に統一ができないかもしれませんが、一度確認して、統一すべきところは統一します。

(委員) 個別目標②の「歳計現金の有利子運用の割合」という指標の基準値が41.6%となっているが、どれくらい上げることが可能なのか。

(会計課) ここ数年は、およそ40～50%程度です。ただし、6～9月の間の運用で、10月以降は運用が厳しいです。

(委員) そういうことであれば、担当課の努力などでコントロールできる指標ではないような気がする。敢えて市民に示す指標として掲載する必要はないと感じる。

(会計課) 各課の取り組みにおける成果目標を一つ以上は掲載することとしているので、検討した結果、この指標を掲載しています。

(委員) 市民として、このように資金運用に努力して取り組んでいるということが分かることは大事だと思うし、掲載することについては問題ないと思う。

(委員) 指標を上げることは大事だが、お話を聞いていると、ある範囲で適正に運用が図られていれば、それでいいと感じる。

(事務局) 目標値を矢印の表記でなく、40～50%というような、適正範囲を示すような表記も検討してみます。

- (委員) 資金運用について基本的な方針があると思うが、その方針に基づいた運用がされていることが示せるとよいと思う。
- (会計課) 数値を考えると難しいが、資金管理方針などを設けておりますので、それに照らして運用しているかなどの見方も考えてみます。
- (委員) 適正に運用されているということが分かると思う。
- (委員) 予算執行の年度の計画などは会計課で管理しているのか。
- (会計課) 執行計画については、行政経営課が担当しています。
- (委員) 執行計画と実際の資金収支の差を見ながら、余裕資金が適正に運用されているかを見るとよいと思ったが、担当課が違うと難しい。関係部署と相談して、自分たちが管理できる指標を設定できるとよいと思う。
- (会計課) 関係課と相談して、一度検討します。
- (委員) 監査に対して、よく知らないが、仕事のやり方・進め方などの業務監査といったものもあるのか。
- (監査委員事務局) 決算監査が主なもので、適正な執行がされているかを確認することが主な内容となっています。
- (委員) 一般的に監査というと、先程説明のあった決算監査であり、お金に対する監査だが、仕事に対する監査というものがあってもよいと思う。そういった取り組みによって、より仕事のレベルが上がっていくと思う。

#### ⑦分野V－柱7 議会運営への支援について

- (副会長) ご意見等ありますか。
- (委員) 議会の傍聴者数なども成果指標になるのではないか。
- (議事課) 傍聴者数については、議会や議員の活動によるところが主で、行政の取り組みとして傍聴者数を増やすという目標を掲げるのは難しいと考えています。
- (委員) 傍聴者数も一つの参考数値なると思い発言した。
- (議事課) 参考資料として、現状と課題のところ過去傍聴者数の推移をグラフで示します。
- (委員) 議会のホームページがあることは知っているが、今後、新規のコンテンツやページの充実などを図る予定はあるか。
- (議事課) 議会改革特別委員会の中で、議会広報の作成などが案として出ているが、市広報との整合や費用の面から、現在も議論している最中です。ホームページについても掲載内容を議論しています。
- (委員) ターゲットの目線を小中学生に下げ、社会科の資料として伝えたりするなどの取り組みがあってもよい。小牧市ではそういった取り組みもあるようで、参考になると思う。
- (議事課) 一度、議会改革特別委員会に持ち帰って、検討していきたいと思います。
- (副会長) 他にご意見がないようですので、次に移ります。

### 3 その他

#### 審議会等の開催予定について

- (事務局) 今後は、審議会での審議、市民会議（全体会議）での協議を進めてまいります。また、平成29年7月ごろには住民説明会を開催させていただきます。

### 4 閉会

- (事務局) 長期間に渡りご検討いただきまして、ありがとうございました。第7回市民会議（分科会）を終了します。本日はありがとうございました。

以上